

臨床支援士(医師事務作業補助者)のキャリアパスモデル



レベル	経験年数	役職	期待基準	教育テーマ	院内・院外研修
レベル5		課長	<ul style="list-style-type: none"> 全体の運営方針、および目標の設定を行い、その実現に向け統括ができる。 部署の教育計画を立案し実施できる 	<ul style="list-style-type: none"> マネジメント業務の習得 リーダーシップの展開 総合判断力や問題解決形成力・課題解決力を高める 戦略的発想を身につける チーム医療の推進役としての力量を高める 	<ul style="list-style-type: none"> 管理者研修、学会、研究会
レベル4-I (総合上級) ← レベル4-II (専門上級)	5~	係長主任	<ul style="list-style-type: none"> スタッフの教育、指導専門職として、業務のスーパーバイズ、スキル指導やOJT、研修講師、カウンセリング等を行うことができる 豊富な専門知識・専門技術を有し、難度の高い業務を効率的に遂行できる 役職者として、全体の運営方針および目標の設定と、その実現に向けた活動および上位役職者の補佐ができる 	<ul style="list-style-type: none"> 役職者に求められるチームマネジメント、リーダーシップ、部下指導、人材育成の基本を身につける 専門性を深化、拡大する 	<ul style="list-style-type: none"> 管理者研修 共通項目(部署内マネジメント、リーダーシップ、コーチング、問題解決) 専門的項目(応用的な臨床支援技術、学会、研究会) 専門的項目(学会、研究会)
レベル3(中級後期)	3~5	リーダー	<ul style="list-style-type: none"> チームリーダーとし、管理者を補佐し、自主的に業務の管理、スタッフの指導、業務の企画・立案、業務改善ができる 幅広い実務知識と経験を有し、難易度が極めて高い業務にも対応できる 新人や後輩の指導、改善提案などにも対応できる 緊急時の対応を適切に行うことができる 	<ul style="list-style-type: none"> 小規模グループ(チーム)のリーダーに求められるマネジメント業務を習得する 患者サービスの質向上や医師の負担軽減の向上に向けた業務の改善力、問題解決力を高める 新人や後輩への指導力を高める 	<ul style="list-style-type: none"> リーダーシップ研修 共通項目(チームワーク、コミュニケーション) 専門的項目(実践的な臨床支援技術、院内勉強会、外部研修会、学会、研究会)
レベル2(中級前期)	2~3	スタッフ	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的な実務知識、技能を応用し、比較的難易度の高い業務にも対応できる 決められた内容の業務を手際よく効率的に実施できる 現場のニーズや状況の変化に適切に対応できる 協働スタッフ、上司、医師へ適時、報告・連絡・相談ができる 患者、家族の目線に立ったサービス質向上を考えることができる 	<ul style="list-style-type: none"> 実践的な診療支援技術、知識を習得する 現場における状況判断力を高める 専門性をより深める 改善提案力を高める 多職種間の調整力を高める 	<ul style="list-style-type: none"> 共通項目(チームワーク、コミュニケーション) 専門的項目(実践的な臨床支援技術、院内勉強会、外部研修会)
レベル1(初級)	1~2		<ul style="list-style-type: none"> 配置後6カ月以内に医師事務作業補助者研修(32時間)を受講し、決められた内容の業務を決められた手順で実施できる 基礎的な実務知識・技能を有し、指導を受けながら比較的難易度の高くない業務を担当できる 協働するスタッフ・他部門・他職種とコミュニケーション・連携を図ることができる 患者のプライバシーに配慮し、業務遂行できる 上司への報告・連絡・相談ができる 	<ul style="list-style-type: none"> 医師事務作業補助者の役割を理解する 院内の仕組みを理解する 社会人・組織人としての自覚を養う 初期の不安や悩みをフォローする 基本的な医学専門用語や疾患を習得する 医療文書作成の基本を習得する 専門性の基礎作りを行う 患者サービス・接遇の実践力を高める 基礎的な業務を医師、他部門、他職種と連携し、実施できる 	<ul style="list-style-type: none"> 新人研修(入職時・フォロー) 32時間の基礎研修 共通項目(組織の理念・ルール、職業倫理、コンプライアンス、個人情報保護、医療安全、院内感染予防) 接遇マナー OJT 院内勉強会 外部研修会